

記載例

令和〇年〇月〇〇日

鹿児島県労働委員会
会長

殿

申請者 名称 〇〇労働組合
代表者職氏名 執行委員長 〇〇〇〇

申 請 書

労働関係調整法第12条に基づき、下記によりあつせんを申請します。
記

1	用 者	所在地 鹿児島市〇〇町〇〇番地 (〒892-〇〇〇〇)
		会社名 〇〇株式会社 電話 (099) 212-〇〇〇〇 代表者職氏名 代表取締役社長 〇〇〇〇
当	者	資本金 8,000万円 従業員数 115名
		所在地 鹿児島市〇〇町〇〇番地 (〒892-〇〇〇〇)
事	労 働	組合名 〇〇労働組合 電話 (099) 212-〇〇〇〇 代表者職氏名 執行委員長 〇〇〇〇
		組合結成年月日 平成5年5月5日
者	組 合	組合員数 101名 加入上部団体 全国〇〇労働組合
2	事業の種類	機械製造業
3	関係事業所名及びその所在地	〇〇株式会社 〇〇工場 〇〇市〇〇町〇〇番地
4	調整事項	賃金引き上げ
5	申請に至るまでの交渉経過 (別紙)	
6	争議行為を伴っている場合は、その概況	〇月〇〇日24時間スト
7	労働協約の定めに基づく当事者の一方からの申請である場合、当該協約の関係条項	労働協約 第99条 団体交渉により協議不成立となった場合、会社組合双方いずれかの申請により、労働委員会にあつせん、調停又は仲裁を依頼することができる。
8	その他参考事項	

3月1日 組合は、賃金一律10,000円引き上げを要求し、3月3日団体交渉を行うことを申し入れた。

3月3日 組合三役と会社側3人による第1回団交が行われ、組合要求の趣旨の説明に対し、会社側から一律4,500円引き上げの回答がなされた。組合は、不満としてこれを拒否した。

3月8日 第2回団交が行われたが、進展がなかった。

3月11日 第3回団交において、会社側から一律5,000円引き上げの回答がなされたが、組合はさらに引き上げを要求した。

3月15日 第4回団交が行われたが、進展がなかった。

3月20日 第5回団交において、交渉が決裂した。

(注) 1 申請書用紙は、事務局に用意してありますので、これにより記入してください。また、県のホームページからもダウンロードできます(巻末のホームページアドレス参照)。

2 この様式は、調停及び仲裁の申請の場合にも使用しますが、下記の点に留意してください。

(1) 調停申請の場合

「事業の種類」に公益事業を含むときは、その種別を記入してください。

(2) 仲裁申請の場合

仲裁委員に関し、当事者が合意により選定した者がある場合は、その氏名を「その他参考事項」に記入してください。